

チェンマイ県青少年へのHIV／AIDS予防教育事業(第2期)
(中間報告期間:2014年8月1日～2014年12月31日)

特定非営利活動法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン

1. 高等専門学校職員への事業説明会



理事長、副理事長含む学校職員に本事業の説明を行い、本事業への理解と協力を得た。本事業は、普段から学生と接する機会の多い学校職員の理解と協力が不可欠であるため、合同説明会とは別に学校ごとに説明会を設け、丁寧に説明を行った。

2. 高等専門学校職員・高等専門学校生代表・チェンマイ県保健局職員・感染症対策室への合同事業説明会



第2期対象の6校が初めて集まる場で、事業の説明を行うと共に今後の方向性を確認した。第1期対象の高等専門学校から職員やピアエデュケーター(写真右)が出席し、1年間の知見や経験を共有する時間も設けた。

3. ベースライン調査



HIV/AIDS の知識や予防行動についてのベースライン調査を実施した。調査の趣旨を説明する当団体職員（写真左）と、質問票に真剣に答える学生（写真右）の様子。

4. 高等専門学校生ピアエデュケーター育成研修



HIV/AIDS に関する基礎知識を講義形式で学んだほか、実際にゲーム形式で教育内容を体得した。思春期を迎えると起こる体の変化を肯定的に捉えられるように、また成長には個人差があることを理解するためのゲーム（写真左）等、楽しみながら学んでいった。研修後には一人一人に修了書を渡し、今後 1 年間ピアエデュケーターとして活動してもらうことを約束した（写真右）。

5. 高等専門学校の職員を対象にしたピア教育のカリキュラムや教材作成のための会議



第 1 期に作成したカリキュラムや教材の改善点等を話し合い、第 2 期の学生向けに改訂した。学生にとってより分かりやすいデザインになるように検討した。

6. 学校内ネットワーク月例会議と研修後のフォローアップ



育成したピアエデュケーターが、実際に学校職員のサポートを得ながらピア教育を実施できるように、当団体職員が定期的に各学校を訪問し、関係者との会議を行った。

7. ピア教育プログラム企画・メディア開発の発表会



ピアエデュケーターが、自ら作成した「HIV 感染予防と陽性者との共生」をテーマにしたショートフィルムを発表し(写真左)、チェンマイ県保健局職員や当団体職員等がアドバイスをを行った(写真右)。

8. ピア教育活動



ピアエデュケーターが中心となり、HIV の感染拡大を分かりやすく伝える水を使ったゲーム(写真左)等、同世代の学生に教育を行った。また、希望者には匿名での HIV 抗体検査を各学校で実施した(写真右)。